

## 中間答申（案）から素案作成までの変更について

### 中間答申（案）から中間答申まで

#### 1 表紙のイラストについて

##### <変更箇所：表紙>

当初、表紙のデザイン（絵）の構成が「父・母・子ども2人」の家族構成となっていたが、ひとり親などの事情がある家庭もある中で、表紙がそのような家族構成になっていると、どの家庭にも必ず両親がいることを連想してしまうため、笑顔の子どもたちのデザインに変更する。

#### 2 「ユースワーク」の説明について

##### <変更箇所：3ページ「4 子どもたちの生きる力をはぐくむ環境づくり」>

「ユースワーク」という言葉がまだ浸透していないため、内容が分かるように、本文中に説明書きを入れる。

##### <変更内容>

【本文(抜粋)】

また、青少年が様々な体験や活動を通じて、主体的に学び、自己実現を図ることを支援する「ユースワーク」の視点を取り入れた取組みを推進します。

### 中間答申から素案まで

#### 3 「3つの視点」から「4つの方向性」へのつながりについて

##### <変更箇所：2ページ「安心して子育てをするための支援」>

2ページの「3つの視点」を踏まえて、3ページの「4つの方向性」を定めているので、つながりが分かるように、2つ目の視点「子育てを楽しむための支援」を「安心して子育てするための支援」に表現を変更する。

#### 4 「4つの方向性」について

##### <変更箇所：3ページ「4つの方向性」>

3ページでは4つの項目ごとに「方向性」を定めていることから、「4つの方向性」に表現を変更する。

##### <変更内容>

中間答申(変更前)：4つの目標 → 素案(変更後)：4つの方向性

(※「4つの目標」と表記していた箇所はすべて「4つの方向性」に変更)

## 5 「保健所」の追記について

<変更箇所：3ページ「1 安全に安心して産み育てることができる環境づくり」>

1つめの吹き出しで「母子健康包括支援センター・・・」としているが、「保健所」においても同様に連携し、支援を実施していくことから、「保健所・母子健康包括支援センター・・・」と追記する。

## 6 「指標」の追記について

<変更箇所：3ページ最下部の「※」書き部分>

関連する資料（資料編）では、「取組内容」のほか、「指標」も掲載しているため、「指標と取組内容は・・・」と追記する。

また、スムーズに掲載ページにアクセスできるよう、QRコードを表記する。

## 7 関係機関の連携図の削除について

<変更箇所：12ページ「1 計画の推進と市民や関係機関との連携」>

「行政主体の子ども・子育て支援」と「専門的な子ども・子育て支援」のそれぞれに行政機関が含まれているなど、支援の区別の違いが明確に分かりにくいいため、連携図を削除する。  
また、その他の文章や図を大きくすることで、見やすくする。

以 上

## 市民意見公募手続の意見集約状況（速報）について

（案件名：第4期尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画及び第2期尼崎市子ども・子育て支援事業計画の策定について）

意見募集期間：令和元年12月25日（水）から令和2年1月15日（水）まで  
 提出件数（人数）：1件（1人）

No	概要	件数
児童ホームに関すること（P3「2 子育てと仕事の調和の実現に向けた環境づくり」）		
1	<p>尼崎市では待機児童対策として、民間の学童や、児童ホームの定員拡大や設備の改修を進められておりますが、今一度、尼崎の学童保育の質の改善にも目を向けていただき、「子どもの笑顔輝くあまがさき」のため、わいわいキッズプランあまがさきの二つめの視点「安心して子育てをするための支援」、二つめの目的「子育てと仕事の調和の実現に向けた環境づくり」に児童ホームでの尼崎市によるおやつ提供を含めていただくようお願い申し上げます。</p>	1件

素案から最終答申（案）作成までの変更について

1 令和3年度の待機児童解消までの保育需要及び必要な定員の確保数の明記について

<追記箇所：5ページ「2 教育・保育の量の見込み及び確保方策」>

令和3年4月1日に待機児童解消を目指すために、令和3年度までに必要となる定員の確保数や、保育需要の増加の見込みを明記し、わかりやすくする。

〈追記内容〉

(※1)

量の見込み(2・3号)：平成31年度 8,700人 → 令和3年度(見込) 9,066人  
= 366人分の保育需要が増える見込みです。

確保方策(2・3号)：平成31年度 8,154人 → 令和3年度(見込) 9,198人  
= 待機児童解消には、あと1,044人分の定員の確保が必要です。

以上